

The 14th Asia-Pacific International Symposium on the Basics and Applications of Plasma Technology (APSPT-14)/

国際静電気研究交流会 in 台湾

高橋 克幸^{*,1}, 佐藤 岳彦^{**}

1. APSPT-14

APSPT (Asia-Pacific International Symposium on the Basics and Applications of Plasma Technology) は、台湾と日本のプラズマ関連研究者の交流を目的として



図1 APSPT-14の様子

設立された国際シンポジウムである。日本側は電気学会プラズマ技術委員会が主体となり、隔年で日本と台湾で交互に開催されている。今回のAPSPT-14は、2025年12月11日から14日の日程で、台湾・高雄市の国立中山大学 (National Sun Yat-sen University) において同学・林哲信教授がChairを務められ開催された (図1)。

参加者数は合計205名にのぼり、日本および台湾のみならず、インドやタイをはじめとするアジア各国・地域から参加があった。期間中、プレナリー講演5件、招待講演8件に加え、68件の口頭発表、54件のポスター発表が行われた。講演内容は非常に幅広く、衝突断面積やシミュレーション、プラズマパラメータ計測、高密度プラズマ現象など、基礎研究から、農業・食品、医療、材料・化学プロセスへの応用まで、多岐にわたる講演があり、各分野における研究の深化に加え、分野横断的な展開についても活発な議論が交わされた。

会場は海に面した開放的な環境にあり、穏やかな気候にも恵まれた。エクスカージョンでは高雄港クルージングが実施され、近代的で美しい夜景を堪能できた。バンケットでは、海産物など特色ある食事の提供とともに、関係者の還暦祝いやカラオケなど催しがあり、価値ある交流の場となった。

次回APSPT-15は、岩手大学の高木浩一教授がChairを務め、2027年12月9日から12日にかけて、松江市のくびきメッセにて開催予定である。

2. 国際静電気研究交流会 in 台湾

静電気学会では、静電気分野における国際的な研究ネット



図2 国際静電気研究交流会の様子

ワークの拡充および学術的プレゼンスの向上を目的に、海外研究者との継続的な研究交流を推進している。その一環として、静電気学会地方支部合同で、日本および台湾の研究者による国際研究交流会を企画し、静電気および関連分野における最新の研究成果の共有と、将来的な国際共同研究の創出を目的として本交流会を開催した。本交流会は、APSPT-14終了後の12月14日に、引き続き国立中山大学で開催された。林哲信教授の協力のもと企画・運営され、日本静電気学会各支部 (東北・北海道、関西、九州) および台湾側研究者が連携して実施した。参加者は台湾12名、日本12名である (内学生2名ずつ)。

当日は、昼食ミーティングに続いて開会挨拶および本交流会の趣旨説明が行われた。その後、日本および台湾の参加者全員による自己紹介を行い、研究分野や関心領域を共有することで、参加者間の相互理解が深められた。

研究発表セッションでは (図2)、日本および台湾の大学・研究機関・企業研究者による計8件の研究発表が行われた。発表内容は、静電気・放電現象、プラズマ工学、高電圧計測技術、機械学習応用、持続可能材料、微細気泡の電気的特性など多岐にわたり、静電気分野を軸としつつも学際的広がりを有する構成となった。各発表後、活発な質疑応答が行われ、基礎研究から応用技術に至るまで、分野横断的議論が展開された。

総合討論では、日台双方の研究者間で、今後の国際共同研究の可能性、若手研究者交流の促進、学会・国際会議との連携の在り方などについて意見交換が行われ、今後の連携強化に向けて活動を継続する方針が共有された。

本交流会は、プログラムに沿って概ね計画どおり実施され、日台双方の研究者にとって極めて有意義な研究交流の場となった。今後は、本交流会を契機として、共同研究の具体化、定期的な国際研究交流会の開催、若手研究者の国際的育成などを推進していく予定である。

*岩手大学理工学部 (〒020-855 岩手県盛岡市上田4-3-5)

**東北大学流体科学研究所 (〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1)

¹ Tel: 019-621-6460

E-mail ktaka@iwate-u.ac.jp